

今月は、日生協監事監査研究会に参加しました。またハートコープいしかわの業務監査を実施しました。

## 理事の活動



上野 貞彦 理事

### お気に入りのコープ商品

co-op 農薬を使っていない大豆の充てん豆腐



今回は第19回通常総代会で新しく役員となった上野理事の自己紹介です。

今年の通常総代会において、有識者理事に選出されました。現在は、石川県労働者福祉協議会に勤務し、働く人はもとより、地域住民の福祉や環境等がより良いものとなるよう活動するほか、同協議会会員が行う活動を外側から応援しています。



### コープいしかわに期待することは？

組合員に寄り添い丁寧で細目に日々活動されている実態を見聞きし、まさに組合員目線の事業運営をしてくれていることに感動するばかりです。コープいしかわが、これからも“組合員あつての生協”の姿勢を大切にしつつ、今後もより良い安全な商品の提供や地域振興に努められることを期待します。



### 大切にしている思いは何ですか？

総代会議では、総代の皆さんの熱意を感じました。事業を支える組合員・総代の力がなければ、生協は成り立ちません、皆さんには今後も大いに期待します。私は現職の立場からの目線で、生協の運営にかかわっていきたくと思います。



### 今後の抱負をお願いします

コープいしかわのことは、まだまだ分からないことばかりですが、外部からの理事としての務めを果たしていきたくと思います。

## 理事長コラム

### 『 生協10の基本ケア 』

総代の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。師走を迎え何かと気ぜわしい気持ちになります。

先日の「秋の総代会議」で、「生協10の基本ケア」について提案させていただきました。総代の皆さまからは、「生協10の基本ケアに興味を持っています」「福祉事業がよりよく育つのは社会的にも大きいことだと思います」などの声が寄せられました。誰もが年を重ねていきます。社会全体も高齢化がすすみ、家族の介護にどう対応していくか悩まれている方が増えているように思います。

コープいしかわは、「すみ慣れた地域で、生涯安心して暮らし続けたい」という、組合員の願いに応えて、2006年度に福祉事業を開始し、訪問介護、通所介護、居宅介護、グループホームなど、一歩ずつ福祉事業の領域を広げてきました。生協10の基本ケアは、この願いの実現に貢献できるものとして提案させていただきました。

生協10の基本ケアは、ならコープさんが中心になって設立した「あすなら苑（協同福祉会）」が、長年にわたり実践を続け、自立を支援し元気になる数多くの事例を生み出し、今では全国の生協や生協以外の介護事業者からも注目されています。コープいしかわは、全国28の生協と一緒に、10の基本ケアの導入に向けて、あすなら苑へ職員を派遣し、その目的と実践事例、そして実技を研修で学ばせていただいています。研修に参加したグループホームの職員からは「これからの介護は、生活リハビリを取り入れた自立支援が主体になることを感じ、それに関わることができることを嬉しく思います」、デイサービスコープあいの職員からは「目の前の利用者の皆さんが、生き生きと笑顔で安心して生活していけるように、10の基本ケアを定着させたいと思います」と報告がありました。新しいことにチャレンジし定着させていくのは大変なことですが、今回の参加メンバーから実践を始め、コープいしかわも一緒にこの実践を広げていきたいと思っています。

これからもコープいしかわは、地域の一員として「すみ慣れた地域で、生涯安心して暮らし続けたい」という願いの実現にむけて、組合員の皆さまの理解と協力を得ながら生協10の基本ケアの実践に取り組んでいきます。いよいよ冬の到来ですが、総代の皆さまが、元気に健やかに過ごされることを心から願っています。



理事長 大谷 学